

2024年11月13日

米海軍横須賀基地排水処理施設排水PFAS検出についての司令部調査報告書が情報公開

弁護士 呉 東 正 彦 （電話090-2731-4535）

2022年7月1日に明らかになった米海軍横須賀基地排水処理施設の排水からの日本の基準超過のPFASの検出につき、当職は、同年7月18日に、米海軍横須賀基地司令官に対して、米国情報公開法（FOIA）に基づいて、以下の文書を情報公開請求した。

- 1、排水処理施設のPFASの検出についての司令部調査報告書を含む報告書、検査結果
- 2、今までに横須賀基地においてPFASが検出された事件についての報告書等の文書
- 3、横須賀基地の泡消火剤の保管施設の場所のリスト等の文書

2024年10月30日に、このうち米海軍横須賀基地司令官より、米海軍横須賀基地排水処理施設排水PFAS検出についての司令部調査報告書（以下調査報告書という。2023年3月30日第1次承認、2024年3月14日最終承認）が、一部黒塗りの非公開部分を含んで、17点の添付資料とともに情報公開された。

その内容は、別紙の日本語訳のとおりである。

この調査報告書についてのコメントは以下のとおりである。

- 1、調査報告書はこれまでに明らかになっていなかった多くの事実を明らかにしている。
- 2、しかしながら、調査報告書の意見部分は、汚染原因が特定できなかったというが、調査報告書中の明らかになった事実、添付資料、さらに横須賀市に通知されていた多くの事実との食い違いがあり、信用性がなく、調査の不十分性及び政治的要因によって幕引きを図ろうという意図が感じられ、到底このPFAS汚染の真の原因を明らかにしていると評価することはできない。
- 3、まず、注目すべきは『2022年3月にC1の日本の契約会社が自動車センターのタンクの泡消火剤タンクの点検作業を行い、その中にあった泡消火剤を詰めた袋を破ってしまった。』という事件である。（添付資料12）

そしてタンクから泡消火剤が漏出して、7フィート離れた排水システムの蓋を通して、排水処理施設へ流入した可能性がある。

この可能性は、2022年3月25日、施設保守契約会社が、排水処理施設のプラントAの窒素化合物タンクからの排水から、多量の、こわれぬ泡を、発見した。これに続

いて、この著しく多量の、こわれない泡は3月28・30日、4月4・5・7・8・10・11・12日、5月12日にも発生した、との事実と符号する。（添付資料15）

調査報告書の意見は、2022年3月の契約会社の自動車整備センターに隣接した泡消火剤を入れた袋を破ったことが、5月9日の基準超過のPFASの原因である可能性は極めて少ないし、証拠がない、というが、自動車整備センターマネージャーは、その報告を受けなかったため、泡消火剤を詰めた袋を破ったことにより、泡消火剤溶液が、周辺環境や排水処理施設の排水系統に排出されたかはわかりません。と言っているのに過ぎないから、その可能性を否定することはできない。

4、次に注目すべきは『消防水タンクのPFASサンプリング検査は2021年9月に行われその結果全ての施設でタンク内の水は50ナノグラム／リットルを超えていたので2022年5月から8月にかけて5つの施設でタンクの水のくみ出しを実施した。』という事実がある。（添付資料9）このくみ出し作業を行う過程で、PFASを含むタンク水が漏出して排水処理施設へ流入した可能性があるし、くみ出されたタンク水がどう処理されたのかも不明である。

この可能性は、2022年7月、多量の泡が、リフトステーションから検出され、汚染は排水路内の排水に存在することが明らかとなった。その由来は不明で特定されていない、との事実と符号する。（添付資料14）

また、8月29日にはAの流入排水11100ng/l 流出排水8592ng/l

Cの流入排水138/9ng/l 流出排水5450ng/l

9月29日にはAの流入排水 6280ng/l 流出排水11700ng/l

Cの流入排水 8420ng/l 流出排水12900ng/l

と、流入、流出ともに激増した事態も、3の事態のみでは説明がつかず5つのタンク水のくみ出し過程での漏出の可能性を示している。

この可能性について添付資料では、くみ出し作業につき指摘されているにも係わらず勧告欄及び施設欄が全面的に黒塗りされており、調査報告書では全く触れられていないことが、かえってその疑念を増加させるものである。

5、しかしより根本的には、これまで数十年間にわたって泡消火剤が米海軍横須賀基地内で訓練や緊急事態等によって使用されてきたものが、土壌を汚染して排水系統に流入し

また泡消火剤保管施設からの漏洩や、検査、泡消火剤やタンク水の交換、稼働の中で漏洩が起って、排水系統に流入し、

これらが長期間かけて、排水システムの汚泥、リフトステーション、排水処理施設のプラントや汚泥に蓄積したものが、異常な泡として発見され、P F A Sが検出されたという可能性を否定することはできない。

3月の泡消火剤袋の破断が起こる前の2月19日に、すでに排水処理施設プラントAの窒素化合タンクから多量の泡が発見され、4月には、リフトステーションから油っぽい廃棄物が、7月にもリフトステーションから多量の泡が発見されているからである。

そして調査報告書も、2022年2月から7月22日までの間に訓練や緊急事態による排水への泡消火剤の漏洩はなかった、とするのに過ぎず、この期間以前の使用の蓄積は否定されない。また2022年2月から7月22日までの間に検査作業による排水への泡消火剤の漏洩はなかった、とするのに過ぎず、この期間以前の検査等による漏洩の蓄積は否定されない。

6、従って、今回の排水処理施設排水のP F A S汚染は、以下の3段階の原因の競合する複合汚染ではないかと推測される。

- ① 2022年2月以前の長期間にわたる泡消火剤の訓練や緊急事態での使用が土壌等を汚染し、また泡消火剤保管施設からの検査時等の漏洩等が、排水システムを経て、リフトステーションや、排水処理施設の貯蔵タンクに蓄積されたもの。
- ② 2022年3月に契約会社が自動車センターのタンク点検作業中にタンク内の泡消火剤を詰めた袋を破ってしまい、タンクから泡消火剤が漏洩して排水システムに流入し、排水処理施設に至ったもの。
- ③ 2022年5月から8月にかけて、米海軍公共工事が5つの泡消火剤貯蔵タンク内のP F A Sを含むタンク水のくみ出し作業を行った過程で、排水が漏洩して、排水システムに流入し、排水処理施設に至ったもの。

7、当初の発表では2022年5月4日に排水処理会社が特異な泡を発見したので、5月9日に米海軍がサンプリング調査を実施したとの発表だったが排水処理会社（K T R）は2月19日にすでに処理施設のタンク内に多量の泡を発見していた。

5月4日は同社がP F A Sの基準米海軍に知らせた日である。ところが米海軍は調査方法がE P Aの方法に沿っていないとの理由で5月9日再調査をし、通知しなかった。

この4ヶ月以上の発見、通知の遅れが、汚染の拡散を招いた。

8、調査報告書は2023年3月30日に完成して第1次承認を受けているのに、最終承

認まで2024年3月14日と1年かかりさらに情報公開まで7月以上かかっている。

なぜ、この程度の調査内容を今まで公開しなかったのか。日本政府、横須賀市にも伝えなかったのか、大いに疑問である。

9、PFASの含まれている米海軍横須賀基地の泡消火剤保管施設が10ヵ所（その場所内容は非公開）に限定されることが明らかとなった。2022年5月から8月にかけてその5基につき、『軍事用泡消火剤の交換後の対策』によりPFASを含むタンク水のくみ出し作業が行われたことが明らかとなった。

10、活性炭フィルターは米国政府からの供給品であることが明らかとなった。23年10月21日活性炭フィルターが停止した理由は予算上の理由ではないかと推測される。

11、調査報告書は2022年7月までの軽微なPFAS汚染原因の調査に過ぎない。調査内容も単なる各担当者の聴取に止まる原因の特定が不十分な未完のものである。

そして8月29日の3回目採取結果でPFASは環境基準の222倍とより深刻化したことの原因調査報告書がさらにあるはずであり、ないとすれば追加調査すべきである。

そこで当職は本日別紙のとおり、調査報告書を元にさらに未解明の汚染原因を明らかにするため、米海軍横須賀基地司令官に対して、以下の第2次情報公開請求を行った。

① 2022年8月以降のPFAS検査結果の急激な悪化についての原因調査報告書

② 2022年5月から8月の5ヶ所の泡消火剤タンク水のくみ出し作業に関する報告書（添付資料9）

③ PFAS検査回数と結果の入ったチームズのデータ（添付資料14）

④ 2022年8月実施された22ヶ所のリフトステーション、排水処理施設の汚泥の検査結果。

⑤ 2023年1月以降の排水処理施設排水のサンプリング検査結果

12、調査報告書の汚染原因不明との結論によると、汚染原因に対するきちんとした防止対策は行われていないこととなり、活性炭フィルターに頼った対策は、フィルター停止によって振り出しに戻ったこととなり、PFAS汚染問題は全く解決していない。

横須賀市も日本政府も幕引きという姿勢を改め、この調査報告書を元に米海軍に追加の事実を照会するとともに、現在のサンプリング結果の公開、フィルター停止の原因の公表、基地への再度の立入調査の要求、東京湾への排水の停止等を求めるべきである。

【PFOS等に係る国からの追加の情報提供（第2報）】

1. 新たに確認できた事項

- 5月4日 米海軍横須賀基地の排水処理施設において、排水処理の業者が特異な泡を発見したため、5月9日、米側においてサンプリングを実施。
- 6月27日 サンプリング結果が判明したため、6月29日、日本側に通報。
- 米海軍横須賀基地の排水処理施設内のサンプルの暫定値は、以下のとおり。

採取場所		PFOS	PFOA
生活排水ライン	入口	19 ng/L	不検出
	出口	100 ng/L	12 ng/L
産業排水ライン	入口	不検出	不検出
	出口	30 ng/L	27 ng/L

- 2. 水環境中の暫定目標値を超えるPFOS等が検出された理由は不明であり、泡が確認された後、サンプリング調査が判明するまでの間は、排水処理施設内の目視点検や施設内の消火設備の点検、関係者への聞き取り等の調査を実施。この間、消火システムの故障や特異な泡などは確認されておらず、通常通り排水を続けている。
- 3. 今後、米側において排水処理場内の排水の再サンプリングを実施し、分析を行い、結果が判明した後、速やかに日本政府に伝達予定。

【横須賀海軍施設の排水処理施設におけるサンプリングの分析結果】

サンプリング結果		PFOS	PFOA	PFOS+PFOA
生活排水ライン	サンプリング (3回目) (8月29日採取)	入口	不検出	11100ng/L
		出口	442 ng/L	8150 ng/L
	サンプリング (4回目) (8月30日採取)	入口	29ng/L	5.7ng/L
		出口	130ng/L	34ng/L
	サンプリング (5回目) (9月29日採取)	入口	不検出	6280ng/L
		出口	不検出	11700ng/L
産業排水ライン	サンプリング (3回目) (8月29日採取)	入口	26.9 ng/L	112 ng/L
		出口	1370 ng/L	4080ng/L
	サンプリング (4回目) (8月30日採取)	入口	37ng/L	6.4ng/L
		出口	180ng/L	73ng/L
	サンプリング (5回目) (9月29日採取)	入口	不検出	8420ng/L
		出口	不検出	12900ng/L

横須賀海軍施設における排水処理施設からのPFOS等を含む排水に関する
在日米海軍司令官への申し入れについて

1. 日 時：令和4年10月6日（木） 午前11:00～11:40
2. 場 所：在日米海軍司令部 会議室
2. 出席者
当 方：市長、市長特命参与
先 方：在日米海軍司令官、米海軍横須賀基地司令官
3. 応答内容：以下のとおり

【市長】

今回の件については、極めて遺憾であり、これまでの信頼関係が大きく損なわれたと感じている。厳重に抗議させていただく。

【在日米海軍司令官】

今回の件で、横須賀市民の方々をはじめ、皆様に不安な気持ちを抱かせてしまったことを大変申し訳なく思っている。私自身心を痛めているし、反省している。

【市長】

生活排水ライン、産業排水ラインの入口と出口の数値について情報提供をしてほしい。

【在日米海軍司令官】

8月29日のサンプリング調査では、
生活排水ラインは入口で11,100ng/L、出口で8,592ng/L、
産業排水ラインは入り口で138.9 ng/L、出口で5,450ng/Lの数値が検出された。

さらに、8月30日に追加のサンプリング調査を実施したところ
生活排水ラインは入口で34.7ng/L、出口で164ng/L、
産業排水ラインは入り口で43.4ng/L、出口で253ng/Lの数値が検出された。

【市長】

このような暫定目標値を大きく上回るPFOS等を含む排水が流出している現状を一刻も早く改善してほしい

【在日米海軍司令官】

現在も原因究明に全力で取り組んでいる。

【市長】

排水を止めることはできないのか。

【在日米海軍司令官】

基地内のトイレ、流し台等の水回りの排水は全てこの排水処理施設を通してしている。これを停止させてしまうと、基地内に住んでいる住民が移転する必要が出てしまうので、現実的に不可能である。

【市長】

粒状活性炭を使用したフィルターの設置を早急に行い、早急に稼働してほしい。

【在日米海軍司令官】

現在、フィルターを設置するための地盤工事を実施しているところであり、早急に設置できるよう尽力している。

【市長】

現在の米軍の調査について説明してほしい。

【在日米海軍司令官】

建物から出された排水が一度溜まる場所があり、それをリフトステーションと呼んでいるが、そのリフトステーションは全部で22か所あり、現在それらのサンプリング調査を実施しているところである。また、排水処理施設内の汚泥調査も含めてサンプリング調査中である。結果はまだ出ていない。

【市長】

設置までの間、可能な限りの対策を早急を実施してほしい。

【在日米海軍司令官】

リフトステーションから排水処理施設の間に、一か所大きなタンクがあるが、そのタンク内の水を汲み取ることを検討している。

【市長】

再発防止のためには、原因究明が不可欠である。国による環境補足協定に基づく立ち入り調査を受け入れ、日米政府で早期に原因究明を図り、早急に現状を改善してほしい。

【在日米海軍司令官】

立ち入り調査については、日米両政府で協力して実現できるよう努力したい。

November 13, 2024

Commander Fleet Activities Yokosuka

PSC 473 BOX 1

FPO AP 96349-1100

Re: Freedom of Information Act Request

Dear Sir,

I am requesting access to the following documents under the provisions of the Freedom of Information Act, 5 U.S.C. § 552,

1, Any documents concerning the incident that PFOS and PFOA in the water from the waste water treatment plant onboard Fleet Activities Yokosuka were remarkably increased on August 2022 including technical reports, examination data of PFOS and PFOA, and command investigation.

2, Any documents or reports concerning the pump-out of 5 AFFF systems onboard Fleet Activities Yokosuka conducted from May to August 2022. (See the appended enclosure 9)

3, Any data of the Microsoft teams group concerning the details on testig frequency and results of PFOS/PFOA of the waste water treatment plant onboard Fleet Activities Yokosuka. (See the appended enclosure 14)

4, The examination data of PFOS and PFOA in the water from the 22 lift stations and in the sludge of the waste water treatment plant onboard Fleet Activities Yokosuka conducted on August 2022.

5, The examination data of PFOS and PFOA in the water from the waste water treatment plant onboard Fleet Activities Yokosuka conducted from January 2023 until now.

If you should have any questions about this request, please contact me within the period for initially responding to this request. If you determine that all or a part of the information on my request can be disclosed, please send me that one by mail as soon as possible, or ask me to receive it at your office.

I am the person making this request and all correspondence regarding this request should be directed to the following address and phone number.

Sincerely,

A handwritten signature in cursive script that reads "Masahiko Goto". The signature is written in black ink and is positioned above a horizontal line.

Masahiko Goto

Yokosuka Civic Law Office

3rd Floor Shimizu Building

1-26 Otakicho Yokosuka, Japan

Tel 81-46-827-2713 Fax 81-46-827-2731

E-mail: mgoto@js9.so-net.ne.jp

6 July 2022

From: (b) (3) (A), (b) (6), Public Works Officer, CFA Yokosuka
To: Commander, Fleet Activities Yokosuka

Subj: INQUIRY OF PFAS IN WASTE WATER TREATMENT PLANT LANDSIDE

1. CFAY contains (10) non-mobile, land-based AFFF systems.

a. (b) (3) (A), (b) (6), (b) (5) (b) (3) (A), (b) (6), (b) (5) (b) (3) (A), (b) (6), (b) (5) (b) (3) (A), (b) (6), (b) (5) (b) (3) (A), (b) (6), (b) (5) (b) (3) (A), (b) (6), (b) (5) (b) (3) (A), (b) (6), (b) (5)

b. O/A Jan 2021, all systems were inspected by contractor. Contractor was pre-assessing each system to confirm site conditions and requirements for upcoming contract to "Swap Legacy for MILSPEC AFFF."

c. O/A Apr 2021, all systems were inspected by CFAY PWD Environmental. PWD was pre-assessing each system to confirm underground fire water tank that feeds AFFF system. Water tanks were sampled in Sep 2021 for PFAS. Results indicated water exceeding 50 ppt in all systems. Systems showed no indications of leakage outside the tanks. Sampling informed FY22 effort to pump-out and dispose of PFAS-contaminated water tank via DLA HAZMAT contract.

d. O/A May 2022, PWD coordinated DLA HAZWASTE "Water Tank Pump-out" and executed pump-out of (5) systems. (b) (3) (A), (b) (6), (b) (5) does not have an on-site water tank. (b) (3) (A), (b) (6), (b) (5) was determined not to contain PFAS-contaminated water via resample on 9May22. Pump-outs were suspended to readdress volume requirements. 28Jun – 6Jul 2022, PWD successfully completed pump-out of (b) (3) (A), (b) (6), (b) (5) and (b) (3) (A), (b) (6), (b) (5). (b) (3) (A), (b) (6), (b) (5) is scheduled for Aug 2022 due to DLA contractor availability. The (5) systems pumped out in May 2022 will be re-pumped out in FY22, after correcting for required volumes and isolating from auto-fill sources.

5+5

e. Between July - Oct 2022, contractor is scheduled to execute "Swap Legacy for MILSPEC AFFF" contract. AFFF concentrate tanks and bladders will be repaired, as required, during this contract.

f. AFFF systems are located in building mechanical spaces and do not include drains to waste water system. No leaks or discharges have been reported or found during recurring inspections and maintenance. Fire protection systems are under Preventive Maintenance (PMI) contract.

g. PWD "Slug Prevention Plan" implements routine inspection and sampling of CFAY main base's 22 sewage lift stations. No foaming was reported during routine samples.

2. CFAY contains (4) mobile, land-based AFFF systems operated by (b) (3) (A), (b) (6), (b) (5) on main base. These systems are scheduled for "Swap Legacy for MILSPEC AFFF" contract action between July - Oct 2022. No releases reported. Operations, storage and maintenance practices unknown.

Recommendations. (b) (3) (A), (b) (6), (b) (5)

E

04 Jan 23

SUMMARY OF INTERVIEW ICO (b) (3) (A), (b) (6)

Date: 28 Nov 23

Time: 1000-1100

Location: Commander Fleet Activities Yokosuka, (b) (3) (A), (b) (6), (b) (5)

I, (b) (3) (A), (b) (6) certify that the following is a true and accurate summary of the interview conducted between me and (b) (3) (A), (b) (6) at Fleet Activities, Yokosuka on 21 Nov 22.

1. (b) (3) (A), (b) (6) stated that he has no new information about the presence of PFAS/PFOA in the WWTP since last interviewed in July, 2022.
2. (b) (3) (A), (b) (6) stated that excessive foam was first detected in March 25, 2022.
3. The first was drawn around March 30th, 2022 by contractor without USGOV knowledge due to excessive foaming.
4. Initially tested for Mineral Oils which came back negative. This prompted further testing for PFOA/PFAS which returned positive.
5. USGOV Sampled on April 8th, 2022 which came back positive for PFOS/PFOA. USGOV sampled at Influent and Effluent lines for Plant A and C and occasionally they sample the holding tanks for each plant.
6. In July of 2022 excessive foaming was detected in a lift station indicating contamination within the waste water drainage system. The source was unknown and not determined.
7. More details on testing frequency and results are in the Microsoft teams group.

(b) (3) (A), (b) (6)

(b) (3) (A), (b) (6)